

平成23年 第3回教育委員会 会議録

日 時	平成23年3月1日（火） 午後5時00分～6時30分
場 所	向日市役所大会議室
出席委員	前田委員長、雨宮委員、白幡委員、松本委員、奥野教育長
欠席委員	なし
事 務 局	教育部長、教育部次長、教育総務課長、生涯学習課長、学校教育担当課長、総括指導主事、指導主事、教育総務課係長
議 題	議案第2号「向日市立学校の校長・教頭の人事異動の内申について」 委員会諸報告
傍 聴 者	なし
委員長	開会宣言
委員長	まずは「平成23年度指導の重点」について、前回の会議で概要の説明を受けたが、今回は集約された改訂案について順次説明を願う。
総括指導主事	「第5次向日市総合計画」「京都府教育振興プラン」「学校教育の重点」（京都府）「社会教育の推進のために」（京都府）を踏まえて策定。新学習指導要領本格実施を踏まえた教育活動をさらに推進し、充実させる。 今回の改訂の視点は ○家庭、地域社会と一体となった教育の一層の推進 ○校種間の連携等による発達や学びの連続性を踏まえた教育の充実 ○伝統・文化を学ぶ機会の充実（ふるさと向日市への愛着・誇り） — 平成23年度向日市指導の重点「学校教育」案について — 学校教育については、以下の内容に関わる部分を中心に改訂 ○学力充実・向上 - 基礎・基本徹底、言語活動の充実、読書活動の推進、小中連携・保幼小連携 ○伝統・文化を学ぶ機会の充実 - ふるさと向日市への愛着・誇り

【平成23年度指導の重点「学校教育」の主な改訂点（下線部分）】

■学力の充実・向上と個性を伸ばす教育の推進

○学習指導の充実

- ・ 指導内容の系統性と指導方法の継続性を踏まえ、円滑な接続を図る小中連携の充実（小中連携カリキュラムの開発）
- ・ 学力向上のための適切なICT活用
- ・ 漢字・計算力定着のための「漢字・計算の基礎学力確認シート」，「基礎学力確認テスト」等の活用による基礎・基本の徹底
- ・ 中1振り返り集中学習などを活用した繰り返し指導等基礎・基本の徹底
- ・ 新聞等を活用した指導方法の充実
- ・ 「言語活動の充実に関する指導事例集」等の活用と積極的な教材開発
- ・ 古典に関する指導の充実
- ・ 全校一斉読書の実施
- ・ 学校図書館ボランティア、公立図書館との連携強化

○キャリア教育の充実

- ・ 小学校段階からの主体的な進路選択への展望を持たせる取組の充実

○校種間連携の推進

- ・ 体験入学や出前授業の実施

■豊かな人間性をはぐくむ心の教育の推進

○生徒指導の充実

- ・ 小中連携による系統的、継続的な指導の充実
- ・ 保育所・幼稚園児と小中学生、小学生と中学生の交流活動の一層の推進
- ・ 世代間交流や地域社会との連携による交流・体験活動の一層の充実

○芸術・文化活動の充実

- ・ 向日市の伝統や文化・歴史・産業などに係る地域教材や人材の積極的活用
- ・ 古典に関する指導の充実

■健康の増進、体力の向上、安全・安心の確保

○食育の充実

- ・ 給食に地場産野菜等を活用するとともに、郷土料理や季節の行事食を取り入れ、地域の食材や食文化にかかる歴史を理解し、これらを尊重する心の育成を図る

■家庭、地域社会との連携

○地域の歴史・文化・人材等を生かした教育の推進

- ・ 地域教材の指導の充実
- ・ 向日市文化資料館、向日市文化財調査事務所等との連携の充実

生涯学習課長	— 平成２３年度向日市指導の重点「社会教育」案について — 社会教育については、以下の内容に関わる部分を中心に改訂 ○生涯学習の振興 市民の自主的、自発的学習の支援 ○家庭の教育力向上 生活習慣の確立、家庭での読書習慣定着等 ○地域社会の教育力向上 あいさつ運動等 【平成２３年度指導の重点「社会教育」の主な改訂点（下線部分）】 ■ 生涯学習の振興 ○生涯学習社会の実現 ・ <u>生涯学習・社会教育における指導者の養成と学習の成果を生かす場や機会の充実を図る</u> ・ <u>生涯学習の充実に向け、重要な役割を担う社会教育関係団体に対する適切な指導・助言と情報提供に努める</u> ■ 家庭の教育力の向上 ・ <u>生命を大切にする心、相手を思いやる心など、豊かな心をはぐくむ家庭の教育力を高めるための学習機会の充実に努める</u> ・ <u>子どもの発達段階に応じた適切な家庭教育を進めるため、親やこれに準ずる人の役割や重要性についての学習会の開催や、親子で参加できる行事等の充実に努める</u> ・ <u>子どもを健全にはぐくむため、「早寝、早起き、朝ごはん」など、基本的な生活習慣の確立に向けた取組を推進する</u> ・ <u>親のＰＴＡ活動などへの積極的な参加促進とＰＴＡ活動の充実にに向けた取組を支援する</u> ・ <u>子どもが読書に親しみ、生涯にわたる読書習慣を身につけることができるよう乳幼児期からの読み聞かせや家庭読書等の取組を図る</u> ・ <u>子育ての悩みや不安をやわらげ、親同士のつながりを促進する「親のための応援塾」など身近な場での交流や「子育て支援センター」などと連携を図り、子育て支援に努める</u>
--------	---

	■ 地域社会の教育力の向上 ・ 放課後における児童の安全・安心な居場所の確保と、<u>体験活動や学習活動を行う「京のまなび教室」の充実に努める</u> ・ 地域全体で学校教育を支援するため、<u>ボランティアを活用した「学校支援地域本部事業」の充実を図る</u> ・ <u>「あいさつ運動」の取組を推進し、地域全体で子どもたちを守り育てる気運の醸成を図る</u> ・ <u>学校やPTA等と連携し、携帯電話やインターネットの正しい利活用など、情報モラルの確立を図り、子どもを守るための取組を進める</u> ■ 文化・スポーツの振興 ・ 総合型地域スポーツクラブ「ワイワイスポーツクラブ」が<u>主体的に運営できるよう支援に努める</u> ・ スポーツ関係機関や団体との連携を図り、<u>必要に応じて指導や助言を行うなど協力体制の確立に努める</u> 【質疑等（学校教育）】
委 員	「小中連携カリキュラムの開発」について、具体的に説明を願う。
総括指導主事	特に「総合的な学習の時間」について、指導内容の系統性と指導方法の継続性を図り、小・中学校間の円滑な接続を行う趣旨である。
委 員	それは市全体で統一したカリキュラムを作成するという意図か。
総括指導主事	市全体ではなく、中学校区単位で考えている。
委 員	小中連携に関連して、小学校の外国語活動において、中学校の英語教員が小学校に出向いて授業をサポートするような取組みは考えられないか。
委 員	小学校に中学校の教員が出向いて指導する制度を、京都府教育委員会が23年度から試行する、との新聞報道もあった。
教育長	小学校の外国語活動の目的には、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地を養うことも含まれており、発音などの英語力向上の部分にどれだけ力を入れるのか、という視点もある。

	また、小学校に教員を派遣するためには、中学校における教員配置についても検討する必要がある。 なお、京都府が試行する事業は、音楽や図画工作などの芸術教科について、専門教員による授業を行う取組みである。
委 員	「キャリア教育の充実」の項目で「小学校段階からの主体的な進路選択への展望を持たせる取組の充実」とあるが、対象とするのは小学校何年生以上の児童か。
総括指導主事	キャリア教育の内容は広範囲にわたっており、自分のよさに気づかせることや、自己の生き方や将来について考えさせることなども、キャリア教育の目的に含まれている。 したがって、キャリア教育は小学校１年生からすでに始まっていると考えており、児童生徒の発達段階に応じた取組みを行っていく。
委 員	I C Tの活用状況、実践事例について説明を願う。
総括指導主事	各学校でI C Tの活用に関する校内研修を行っており、電子黒板を利用してインターネットの情報を提示する、児童が発表する際にノートの内容を電子黒板に映し出すなど、I C Tの様々な活用を図っているところである。 ２３年度からは、校務支援システムを利用して、それらの実践事例を集約し、各学校間で共有できる仕組みを作りたい。 【質疑等（社会教育）】
委員長	「「ワイワイスポーツクラブ」が主体的に運営できるように支援を努める」とあるが、具体的な方策は。
生涯学習課長	２３年度からは、新しく設立された「（財）向日市スポーツ文化協会」がその役割を担うことになるが、協会との連携を強化し、クラブが主体的に運営できるよう支援に努めたい。
委員長	「平成２３年度指導の重点」については、本日報告のあった改訂案をベースに、小中連携、キャリア教育等に関する各委員からの意見等も踏まえ作成を願う。

委員長	次に議案第２号「向日市立学校の校長・教頭の人事異動の内申について」を上程するが、この議案は人事に関するものであるため秘密会としたい。秘密会にすることに賛成の方は、挙手を願う。 (全員挙手)
委員長	全員挙手により秘密会とする。 (以下秘密会) (以上秘密会)
委員長	議案第２号の採決を行う。 (全員挙手)
委員長	議案第２号は承認された。
委員長	閉会宣言